

【町長】

<p>通告順</p>	<p>3</p>	<p>質問 議員</p>	<p>上野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>沼田町は本当に暮らしやすい町なのか。</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>執行方針には、新たに社会福祉協議会が「福祉有償運送サービス」が、沼田こども園では、発達に悩みを抱えるこどもの療育、発達支援を目的とする多機能事業所が4月開設に向けて準備が進められていると記載があります。</p> <p>行政以外の他団体が進める事は良いことではありますが、もっと早く取り組めても良かったのではないのでしょうか。</p> <p>一方、これら以外でも町民が困っている事がまだ沢山あり、沼田町は本当に暮らしやすい町なのかとも考えてしまいます。</p> <p>今月末にはJR留萌線の廃止も控えており、町外への通院・通学への不安、高齢者に限らずまだまだ解決しなければならない現実を町長はどう考えているのでしょうか。</p> <p>そこで、以下の点についてお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 横山町長自身、沼田町は暮らしやすいと思っているのか、それともまだ問題点があるのかの認識をお聞かせ下さい。</li> <li>2. JR北海道は3月14日のダイヤ改正で指定席予約及びお得な切符の予約販売をホームページの「えきねっと」へと変更になります。 これでは、高齢者の多くは不便になるとの声がありますが、町として何らかの対応を考えているのか。</li> <li>3. 沼田町が更に暮らしやすくなるための課題や問題点を把握する総点検を何らかの方法で実施する考えはないか。 例えば、高校生を持つ親が深川、滝川、旭川への通学に困っていたり、高齢者には生活しづらく住みにくい町になっているとの声もあり、行政は多くの町民の声を聴き、対応する事が必要だと思えます。</li> </ol> <p>以上、町長に質問致します。</p>		

【町長】

<p>通告順</p>	<p>4</p>	<p>質問 議員</p>	<p>上野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>横山町長就任 2 期 8 年の成果について</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>横山町長にとっては、今回の令和 8 年度予算は本格予算としては最終年 であります。</p> <p>今回の執行方針には【町民の皆さまがいつまでも安心して暮らし続けるこ とができる「住民福祉の増進」を基本とした中で、私が町長就任時に町の 将来像を「子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造沼田町 ～夢とやさ しさにあふれる小さな町の大きな挑戦】とあります。</p> <p>そこで、「住民福祉の増進」に限ってお聞きします。</p> <p>1. 住民福祉の増進で顕著に成果が上がった事、自信をもって言える事 業成果についてお答え願います。</p> <p>2. 令和 8 年度予算では、この住民福祉の増進を目的とした、事業や予 算は何か</p> <p>町長の施策は産業振興が中心であり、住民福祉の分野への配慮が少ない 気がして将来への不安を感じている町民が多いのではと案じている所で す。</p> <p>以上、町長に質問致します。</p>		

【町長、教育長】

<p>通告順</p>	<p>5</p>	<p>質問 議員</p>	<p>篠原議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>ヤングケアラーへの対応は</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>本来大人が行うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもを「ヤングケアラー」といい、本人には自覚がないまま学校生活などに支障をきたしている場合がある。</p> <p>国は令和6年に「子ども・若者育成支援推進法」を改正し、ヤングケアラーを支援対象として明確に位置づけたが、ヤングケアラーは社会的に充分理解されないまま悩みを抱えて生活している状況があるという。</p> <p>ヤングケアラーへの対応は自治体の福祉部門が担うが、先進的な取り組みを行っている京都府ヤングケアラー総合支援センターでは、ケアを担っている子どもたちが教員など周囲の大人に自分の状況を記して手渡す「困っていることがありますシート」を活用し注目されている。</p> <p>子どもたちが家族以外で日常最も接する機会が多い大人は学校の先生であることは間違いないし、子どもたちの異変に気付くことができる機会が多いのも教員だと言える。</p> <p>そこでまず沼田町におけるヤングケアラーの実態をどのように把握しているか町長に聞く。</p> <p>次に教育長には、学校において教員を対象にヤングケアラーについてどのような研修を行っているか。また、それを基に子どもたちにどのような働きかけを行っているか聞きたい。</p> <p>さらに、京都府が行っているようなチェックシートは子ども自身が自分の状況に気付くきっかけ作りにもなると思われるが、こうした紙媒体のツールを沼田町の学校現場でも活用することはできないか。</p>		

# ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいはしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

## 資料2 京都府が行っている「困っていることがありますシート」 (一部を抜粋)

ふりがな付き

### こまって 困っていることがあっりますシート

かぞく おせわ かじ こまって こと した こうもく ちえっく いれて  
家族のお世話や家事をしていて、困っている事があれば、下の項目にチェックを入れて

みぢかに おとな ひと わたして  
身近にいる大人の人に渡してください。

がっこう くらぶ かつどう ともだち かぞく こまって  
学校のこと、クラブ活動のこと、友達とのこと、家族のこと 困っていませんか？

わたし 私は  そふほ 祖父母 のお世話や家事をしていて、困っていることがあります

- おや 親
- きょうだい
- そのた その他

わたし なまえ  
私の名前

れんらくきき でんわ じゅうしょ  
連絡先(電話、住所)